

《実習科目 実習科目》

科目名	保育実習指導Ⅱ				
担当者氏名	山崎 徳子、坂口 静子、白川 晴美				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎ 実習-4 発達の深い理解 ○ 実習-5 指導・保育の専門性			

《授業の概要》

本講座では、保育実習の意義と目的を理解し、実習の計画、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解し、保育実習Ⅱの準備に必要な知識と実践について総合的に学ぶことを目的とする。

《テキスト》

教科書は使用しない。

《参考図書》

「保育所保育指針」2018年
 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」2018年

《授業の到達目標》

保育実習Ⅰで学んだ実習の基本的な心得について復習するとともに、各年齢ごとの発達の道筋を追いながら、その発達にふさわしい保育計画や保育構成の考え方を学ぶ。また、指導案作成の基本的な考え方を学び、発達過程を考慮した指導案を作成できるようにすることを目標とする。

《授業時間外学習》

保育実習Ⅰ学んだ実習の基本的な心得について復習するとともに、各年齢ごとの発達の道筋を追いながら、その発達にふさわしい保育計画や保育構成の考え方を学ぶ。また、指導案作成の基本的な考え方を学び、発達過程を考慮した指導案を作成できるようにすることを目標とする。

《成績評価の方法》

実習園に関するレポート・保育実習の成果 40%
 保育指導案作成の課題・諸課題 40%
 平常点 20%

《備考（教員経験の有無）》

この教科は、幼稚園・小学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	保育実習事前ガイダンス	保育実習とは…保育実習Ⅰを振り返る 保育実習Ⅱのねらい、記録、段階ごとのポイントの理解
2	保育実習Ⅱへの展望	保育指導案作成と諸課題の理解
3	乳幼児の発達のポイントと保育立案	3歳児～5歳児の保育と指導計画の立案
4	乳幼児の発達のポイントと保育立案	3歳児～5歳児の保育と指導計画の立案
5	乳幼児の発達のポイントと保育立案	3歳児～5歳児の保育と指導計画の立案
6	乳幼児の発達のポイントと保育立案	3歳児～5歳児の保育と指導計画の立案
7	子どもの個人差の理解と対処方法	発達の特徴と生活環境に伴う子どものニーズの理解
8	子どもの個人差の理解と対処方法	発達の特徴と生活環境に伴う子どものニーズの理解
9	子どもの個人差の理解と対処方法	発達の特徴と生活環境に伴う子どものニーズの理解
10	子どもの個人差の理解と対処方法	発達の特徴と生活環境に伴う子どものニーズの理解
11	模擬保育のまとめ	乳児部門および幼児部門の模擬保育を振り返る 発達を押しえた「遊び」と「生活」の確認
12	子どもの個人差の理解と対処方法のまとめ	発達の特徴と子どものニーズ・対処方法の確認
13	実習園への理解	地域社会の中の保育所の機能と役割
14	保育実習指導Ⅱとしてのまとめ	実習に役立つ法令・規則・綱領について 実習直前の確認事項
15	保育実習指導Ⅱとしてのまとめ	保育士に求められる資質・能力・技術の確認と、自己課題の明確化